

令和4年度墨田区立第三寺島幼稚園 経営計画書

園長名 福井 みどり

幼稚園目標	<p>人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性・感性に富み、人間性豊かな幼児を育成する。</p> <p>◎元気によく遊ぶ子ども ○やさしい心をもった子ども ○進んで取り組み、最後までやりぬく子ども</p>
目指す幼稚園像	<p>子どもが主役の幼稚園</p>
目指す子供像	<p>◎元気によく遊ぶ子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に遊び、諸感覚で感じ取り、自分なりに表現することを楽しむ。 ・明るくのびのびと充実感を味わうよう、遊びの中で十分に体を動かす、 ・健康な生活リズム、食の習慣を身に付け、暑さ寒さに負けず進んで戸外で遊ぶ。 ・危険なことや災害について知り、安全に気を付けて行動する。 <p>○やさしい心をもった子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。 ・自然や身近な動植物に親しみ、命あるものを大切にし、いたわる気持ちをもつ。 ・高齢者や地域の方達、異年齢の子ども達に親しみをもつ。 ・様々な国の文化に触れ、親しみをもつ。 <p>○進んで取り組み、最後までやり抜く子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや行事等を通して、自分なりの目標をもってやり抜き、熱中する体験を積む。 ・試行錯誤や協同することを積み重ね、友だちや他の人との関わりを楽しみ達成感を味わわせる。 ・「なぜ、どうして」など、興味や好奇心をもち、少しずつ自分の世界を広げていく。
目指す教師像	<p>教職員の基本姿勢 「子どもが主役の幼稚園」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○愛情をもって子どもの思いや願いを受け止め、自立心や意欲を育てるよう、認め勇気づける指導を行う。 ○幼児理解に努め、一人一の興味関心を大切にしながら、日々の教育活動・環境づくりを振り返り、研究・研鑽に努める。 ○園の教育活動を保護者の地域の皆さまに進んで知らせ、共に児童の成長を喜びあう。幼稚園が親と子の温かい育ちの場となるよう、親身に接し相談や支援に努める。大人も相互に学び合い成長する。 ○保護者、地域、小中学校と連携し、豊かな関わりや具体的な体験の場を創り出す。

項目	取組目標	取組指標	成果指標
保育活動等	<p>幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児の関心意欲を高める環境作りや、保育活動を創り出す。 ○試行錯誤や協同の繰り返しの中で、自分で考え行動する芽を育てる。 ○幼児の発達に段階に応じた課題の設定をし、個別と一斉の指導のバランスをとりながら、保育活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日々指導後の振り返りを大切にすする。 ○日案、週案により実践の振り返りが行われる。子どもの姿が分かりやすく記入される。 ○主体的な行動を促す効果的な実践が蓄積され、次の計画に生かされる。
	<p>特別な支援を必要とする幼児に対しての、組織的な支援等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員の共通理解を基に、特別支援教育体制を整え充実させる。 ○1日常の情報交換、特別支援教育の研修(巡回相談その他)保護者との面談、関係機関との連携、就園、就学相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児への理解が進み、保護者との信頼関係が増し、教職員が一致した対応が出来るようになる。 ○他機関との連携が進み、就学相談や療育など適切な支援が保護者と共に作られる。
	<p>将来の自立に向けた保育活動・相談活動等に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○幼保小の連携を進め、スタートカリキュラムに対応した、アプローチプログラムを進めていく。 ○日常的な相談を進め、就学相談や進学への丁寧な対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自信を付け、就学への期待や意欲が高まる。新しい環境への適応がスムーズになる。 ○各関係機関と連携を図り、幼児にとってより良い就学が出来る。

様式 1

	<p>教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○園内研究・区幼研などで、具体的な保育実践を通して研究研修を進める。 ○OJT や園内研修を通し、指導力向上を図る。 ○若手と経験者でチームになって実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部講師などからの指導を生かし、保育活動が変容する。 ○年間を通して PDCA サイクルで保育実践を見直し指導力が向上する。 ○互いに保育を見合うことで、新たな気づきが生まれる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生活指導等</p>	<p>問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員は幼児の良さに目を向け、勇気づける対応に徹する。園児には友だちの良さに目を向けさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児が安心して登園できる。保護者からの相談に随時対応出来ている。
	<p>基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「早寝、早起き、朝ご飯」の施行を進める。 ○元気なあいさつができるよう支援する。言語環境を整え、教師は正しい言葉を使う。ふわふわ言葉を使うよう指導する。 ○遊びの中で集団のルールや善悪の判断を身に付けさせる。また、自分の気持ちを調整することを学ぶ。 ○三寺小学校、近隣中学校、高齢者や保育園児等と交流を通した、関わりを大切にされた保育を進める。 ○絵本の読み聞かせや親子読書の時間を設定し、心を育て、人のぬくもりや温かい言葉を感じられる時間や場の設定をする。 ○飼育動物や植物を通して自然体験を広げ、命の尊さや大切さを学べるよう本物から学ぶ教育の実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活リズムが整う。活動意欲の向上。(欠席、遅刻の減少) ○元気なあいさつができる。幼児の言葉を大切に、ふわふわ言葉が広がる。 ○集団での活動を通して、規範意識が高まる。自己コントロール力が付く。 ○人への信頼が増し、他者への思いやりのある行動が見られる。 ○読み聞かせを通して本好きの子が育つと同時に、温かい言葉の中で感情が育つ。 ○本物に触れる体験を充実することで、命あるものを大切にしようとする姿が見られる。
	<p>危機回避能力の基礎の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に防災・安全教育を進める。適時の安全面での指導を徹底する。園独自及び、小学校と連携した訓練や、保護者参加の訓練、遠距離の避難訓練を進め「自分の身は自分で守る」意識を、幼児なりに身に付けさせる。 ○不審者対応訓練・環境整備など、園生活の安全を高める取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員の対応が一致し、安全への意識が高まる。幼児の避難行動がより速やかになり、安全への意識も高まる。 ○園生活の安全性が高まる。
<p>幼児や保護者からの意見や要望への対応等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児一人一人を尊重し、常に傾聴する。日常の対話を大切に、教職員からの声かけや要望の聞き取りを進める。地域訪問・個人面談を実施。園公開、各行事のアンケートを毎回実施する。実施後の集約を保護者に発信する。(園便り、HP) 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児、保護者の要望を生かし、改善を進めた保育活動が展開される 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">園の管理運営</p>	<p>経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○園の教育計画を基に、主任を中心に進行管理に努め、若手と経験者が協力して、時期を得た計画立案、適切な実施を進めて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○若手育成と共に、経験者のリーダーシップが育つ。チームとしての意識が育つ。
	<p>幼児の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「元気に遊ぶ子ども」重点にし、自然体験や生活体験を、年間を通して行い、本物から学ぶ体験を通して、自発的に活動することや、表現することを楽しむ意欲や態度を育てる。多様な遊びで生きる力の基礎を育み、将来の「自ら学び考え行動する力」につなげていく。 ○学校・園運営連絡協議会を開き、園での教育活動について、保護者アンケート・自己評価を実施し、分析上、園関係者による意見交換を行い評価の機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境作り、年間指導計画を工夫し実践を積み重ね、幼児の「遊びこむ姿」が見られるようになる。 ○評価を基に、改善策が講じられ、学校計画・教育計画に生かされる。

様式 1

	<p>適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。</p>	<p>○専門講師を招き、教材・教具を整備する。 ○園庭での熱中症予防策として、日よけの整備、園内の防災のための整備を進める。</p>	<p>○保育活動が活性化する。 ○園庭での遊びがしやすくなる。園内の安全性が高まる。</p>
<p>家庭・地域連携</p>	<p>教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。</p>	<p>○園公開、各種行事等保育活動の公開を進める。 ○園便り、クラス便り、HP、スライドショー、掲示板により、保育を分かりやすく知らせる。</p>	<p>○保護者や地域に対し、園の教育方針への理解が深まる。 ○保護者間、親子での対話が深まる。親子関係が良好になる。</p>
	<p>保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。</p>	<p>○保護者や家庭の参加による行事を行う。 ○行事に、地域関係者を招き、園児との交流を進める。 ○幼保小中一貫教育を進め、行事を共同で実施し、園への訪問を積極的に促していく。</p>	<p>○保護者の会との連携を進め、豊かな教育活動になる。 ○この地域に育った喜びを感じ、地域愛が育つ。 ○来園者の増加、園への理解協力体制の強化につながる。</p>